



【新物なめこ情報2】

丸松物産株式会社

10月のMBニュースにて中国産なめこの新物情報を報告させて頂きましたが、新たな情報が入りましたので、以下、続報としてお知らせ致します。

本格的な10月の生産期では大きな天候不良はなかったものの、日本市場の需要が昨年減少した影響で、今年の実産量は昨年比で15%減少したとの事です。

また現地での製造工場についても、昨年は7工場あったのに対し、今年は5工場となりました。

原料の相場については、各工場が競合せずに少量ずつ購入していったこともあって、昨年よりも5%程下がった状態で取引が行われたとの事ではありますが、先月号でもお伝えしました通り、中国での人件費上昇の影響で、今年の実産価格は昨年並みが濃厚との事であり、また先月においては更に進む円安の影響を受けて、日本でのご提供価格の上昇は避けられない状況となっております。

【中国、石油製品価格を8回連続で引き下げ 史上初】

中国国家発展改革委員会(発改委)は14日、今年12回目となる石油製品価格引き下げの通知を発表、史上初めて8回連続の引き下げとなった。中国新聞社が伝えた。

発改委によると、11月15日より、1トン当たりのガソリンの価格は190元(1元=約18.9円)、ディーゼルオイルの価格は180元引き下げられる。小売換算の全国平均価格は、90号ガソリンが1リットル当たり0.14元、ディーゼルオイルが0.15元値下げされる。

中国が前回石油製品価格を調整したのは今月1日。この時はガソリンとディーゼルオイルがそれぞれ245元、235元引き下げられた。

発改委は、「今回の調整幅は、現行の石油製品価格形成メカニズム、および11月14日までの10営業日の国際市場原油平均価格の変化状況に基づき計算し、確定した」としている。

11月初旬以降、世界の石油市場の十分な供給と需要薄などの影響を受け、国際市場の原油価格が大きく下落、14日までの10営業日の平均価格も低下を続けていた。7月末以来、中国の石油製品価格はすでに8回連続で引き下げられている。

これについて、卓創資訊の石油製品アナリスト・劉芸氏は「石油製品価格の引き下げは、ガソリンへの依存度が高い物流企業、タクシー業界、および自動車オーナーにとって、コスト削減につながるだろう」との見方を示す。

今後の石油製品価格の動向について、卓創資訊の石油製品アナリスト・劉孟凱氏は「原油価格が1バレル=80ドルを切った後も下げ止まりが見られない。国際的な原油価格が現在の価格を維持するか、さらに低下すれば、次の調整でも必然的に引き下げられるだろう」と語る。(編集SN)

「人民網日本語版」2014年11月15日より抜粋

【リニューアル品情報】

| | | | |
|--|--------|---|--|
| | 商品名 | 中華春雨 1kg×10 | |
| | 商品説明 | 9月にご案内したリニューアル品ですが、興味本位でご購入された多数のお客様より「和風ダシが効いて美味しい!」とのご好評を頂き、ここに感謝の気持ちを含めて再掲載! 和風テイストに仕上がったこの商品は、リピーター率の高いものとなっておりますので、是非一度ご賞味を! | |
| | 主要原材料 | 春雨、きくらげ、にんじん | |
| | 賞味期限 | 製造日より6ヶ月 | |
| | 使用上の注意 | 開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。 | |
| | | 盛付け例 | |